

国語科学習指導案

授業者 千葉 隆子

- 1 日 時 令和3年10月28日(木) 5校時
- 2 学 級 1年3組 男子18名 女子15名 合計33名
- 3 単元名 故事成語の意味を理解し、エピソードを作ろう
教材名 国語1「今に生きる言葉」(光村図書)

4 単元について

(1) 題材観(教材観)

本単元は、読むこと オ「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする」と我が国語の言語文化に関する事項 ア「音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと」から設定する。故事成語の中から「矛盾」「五十歩百歩」を教材として、故事成語の成り立ちや現代の意味・用法などを学んだ上で、自分の選んだ故事成語について、それに当てはまりそうな日常生活の出来事を結び付けて考え、起承転結の文章を書いて読み合う言語活動を位置づけた。この言語活動を通して、現代に生きる古典には様々な作品があることを気付かせるとともに、自分の生活と結び付けて考えることで、ものの見方や感じ方を広くさせることをねらう。教材は、日常会話や文章の中でよく用いられる故事成語であるので、それらのねらいに適した教材であると言える。

(2) 生徒観

生徒は小学校第4学年でことわざや故事成語について学び、第5学年と第6学年においては、古文と漢文のだいたいの意味を知り、言葉の響きやリズムを味わいながら音読する学習をしてきている。本単元をそれらの学習と結びつけ、中学校での古典学習の入り口として抵抗なく学習に入っていけるようにしたい。本学級の生徒は、前向きに学習に取り組む生徒が多い一方で、自分の意見はもっているものの、それを言葉や文章にして、表出できる生徒は一握りである。4月に実施した岩手県中学校新入生学習状況調査(国語)においては、「文章の内容を的確に押さえて読む」「目的に応じて、必要な情報をとらえて読む」「文章の要旨をとらえて読む」を問う設問の正答率が期待正答率を下回っており、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするということについては課題がある。1年生では、これまでに、物語や説明文を読むことや、スピーチ、詩の感想を伝え合うこと、さらに友達にインタビューをし、他己紹介する文章を発表することなどに取り組んできた。この単元においては、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることを意識して指導を継続していくことが必要である。

(3) 指導観

「矛盾」「五十歩百歩」の基になる故事と自分の体験を結び付けて起承転結の文章を書くことにより理解を深める学習活動が、その他の故事成語とそれに合う出来事のモデル学習になるように配慮していく。また、様々な種類の故事成語を提示することで、言葉に対する生徒の関心を高めたい。そして、起承転結の文章を書いて読み合うことで、故事成語への理解を深め、自分の考えを確かなものにするにつなげたい。

5 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り, 古文や漢文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しむことができる。(3) ア	文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにすることができる。 C (1) オ	言葉がもつ価値に気付くとともに, 進んで読書をし, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとしている。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り, 漢文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにしている。	積極的に自分の考えを確かなものにし, 学習の見通しをもって, 起承転結の文章にまとめようとしている。
学習活動に即した評価規準	①故事成語の基になった漢文を知り, 古典には様々な種類の作品があることを理解している。 ②故事成語の辞書的な意味と故事との関係に注意し, 起承転結にそって文章が書けるように故事成語の意味を読み取っている。	①故事成語「矛盾」「五十歩百歩」について, 文章を読んで理解したことを踏まえ, 自分の表現としてまとめている。 ②故事成語の意味, 由来を理解した上で, テーマにする故事成語を選んでまとめている。	①故事成語と日常生活の出来事を結びつけて考え, 学習活動にそって, 起承転結の文章にまとめようとしている。

7 指導と評価の展開 ○は主に「指導に生かす評価」 ◎は主に「記録に残す評価」

時	評価規準と評価方法	学習活動
1 本 時	【思考・判断・表現①】○ (ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度①】○ (取り組みの観察)	・自分の生活の中から, 故事成語「矛盾」「五十歩百歩」が表す意味と似たような体験を思い出す。 ・「矛盾」「五十歩百歩」の内容に合う出来事について起承転結の構成に沿った文章を書く。 ・グループで作品を読み合い, 交流する。
2	【知識・技能①】○ (取り組みの観察・ワークシート) 【思考・判断・表現②】◎ (ワークシート)	・資料集や国語辞典などを用いて, いろいろな故事成語について調べた中から, 一つを選ぶ。 ・日常生活の中から, 選んだ故事成語と同じような経験をしたことがあるか考え, 起承転結の構成に沿った文章を書く。

3	【主体的に学習に取り組む態度①】◎ (取り組みの観察) 【知識・技能②】◎ (評価表)	・グループで作品を読んで評価し合い、様々な故事成語について知り、理解を深める。
---	---	---

8 本時の達成目標

故事成語「矛盾」「五十歩百歩」について、教科書の書き下し文や現代語訳に沿って故事成語を正しく理解し、自分の経験と結び付けて起承転結の文章にまとめることができる。

9 評価場面での生徒の記述例

<p>「B おおむね満足できる」と「A 十分に満足できる」状況と記述例(記述に基づいた発表例)</p>
<p>B の状況 ①故事成語を正しく理解し、自分の生活に基づく体験が、起承転結に合致している。 ②伝わりやすさを意識し、会話文を入れて、起承転結の文章を書いている。 ③「結」の部分で「矛盾」「五十歩百歩」という故事成語を使って、構成をまとめている。</p> <p>A の状況 ・「矛盾」「五十歩百歩」の故事成語の意味を正しく理解し、④伝わりやすさや正確なニュアンスを考えて、より適切な言葉で起承転結を表現している。</p>
<p>B の記述例</p> <p>①については全体を見て判断。</p> <p>「矛盾」について</p> <p>起・日曜日の昼、母に庭の草むしりを頼まれた。</p> <p>承・母に向かって私は言った。「②任せといて！一本残らず草をむしるよ！」</p> <p>転・30分後、私は草むしりに飽きて犬のポチと遊び始めた。</p> <p>結・通りかかった母が怒鳴った。「②③言っていることとやっていることが矛盾しているよ！」</p> <p>「五十歩百歩」について</p> <p>起・テストが返される日。Aちゃんが、「②テスト何点だった？」とBちゃんに聞いていた。</p> <p>承・「②私、12点だった」というBちゃん。</p> <p>転・「②やった！勝った！私14点！」と喜んでいるAちゃん。</p> <p>結・「②③五十歩百歩だなあ。」と心の中で思う私だった。</p> <p>A の記述例</p> <p>①については全体を見て判断。</p> <p>「矛盾」について</p> <p>起・日曜日の昼、母に庭の草むしりを頼まれた。</p> <p>承・「②時間がかかっても構わないから。お願いね」と頼む母。</p> <p>転・30分後、母親が「②いつまでかかっているの？」と文句を言ってきた。</p> <p>結・「④「時間がかかってもいいの？それともダメなの？②③お母さん、言っていることが矛盾しているよ…。」</p> <p>「五十歩百歩」について</p> <p>起・テストが返される日。Aちゃんが、「②テスト何点だった？」とBちゃんに聞いていた。</p>

承・「②私、12点だった」というBちゃん。
転・「②やった！勝った！私14点！」と喜んでいるAちゃん。
結・それを聞いた私は2人に言った。「②③④Aちゃん、Bちゃん、12点も14点も、低いところで争っていることには変わらない、それって五十歩百歩だよ。だからもうすこし勉強した方がいいよ。」
「C 努力を要する」生徒への手立て
①日常生活において、「矛盾」「五十歩百歩」に当てはまるような例文を用意し、生活を振り返らせる手がかりとさせる。
②③起「いつ・どこで・どうした」承「誰が・どんなことを言った」転「誰が、どんなことを言った」結「故事成語をいれてまとめる」というプリントを用意する。

10 振り返りの場面での生徒の記述例

- ・「五十歩百歩」は低いところで争っていることを表現する故事成語だということを知った。
- ・「矛盾」という言葉は、現代でも十分通用する故事成語だと感じた。

11 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点(◇)見方・考え方を働かせる場面(◆) 評価の観点・ 【評価方法】思考・判断・表現【ワークシート】
導入	1、「矛盾」の意味を確認し、前時までの学習を振り返る 2、本時の目標を確認する。 「矛盾」「五十歩百歩」の故事の意味を理解し、エピソードを作ろう	◇前時に確認した「矛盾」「五十歩百歩」の意味を板書する。 ◇本時の活動のイメージをもつことができるように、ワークシートにかいた「矛盾」の故事の4コマ漫画や「五十歩百歩」の故事を見直す。 ◇前時を簡単に振り返り、学習のつながりを意識できるようにする。
展開	3、自分の生活における矛盾した出来事、五十歩百歩だと感じた出来事について考える。	◇日常生活で「矛盾」した出来事や「五十歩百歩」だと感じた出来事をお互いに確認させる。 ◇実際に体験したことだけではなく、創作してもよいことを知らせる。 【把握】日常生活の中で、「矛盾」した出来事や「五十歩百歩」だと感じた出来事があったかどうかを、近くの人に説明しよう。

<p>4、「矛盾」「五十歩百歩」の意味に合う出来事について起承転結の構成に沿った文章を書く。</p> <p>5、グループで作品を読み合い、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、書かれた出来事の内容や矛盾・五十歩百歩の意味との関連などについて、意味が違う部分については改善点について意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワークシートへの書き方や評価基準について具体的に理解できるように、例を書き入れたワークシートを拡大し、説明する。 ◇評価Aと評価Bの例を示し、相違点について確認する。 ◇文章を書いた後で互いの発表を聞き、故事成語の本当の意味にあっているかを伝えあうことを確認する。 ◆「矛盾」「五十歩百歩」の意味に合う一連の動作を、「起・物事の始まり」「承・続き」「転・続き」「結・最後にどうなったかを書いて話をしめくくる」にあてはめて考えることができる。 ◆起承転結を意識して作ると話しがわかりやすくなる。 ◇起承転結を書く時には、会話文を入れると内容がわかりやすくなること、結の部分は、選んだ故事成語を入れてまとめると伝わりやすくなることを知らせる。 ◇時間に余裕のある生徒には、二つ目を書いてよいと説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【思考・判断・表現】故事成語「矛盾」「五十歩百歩」について、文章を読んで理解したことを踏まえ、自分の表現としてまとめている。(ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇交流は、作品にかかれた出来事が故事成語の意味と合っているかという観点で行う。記述の巧みさや内容の面白さについて行うのではないことを確認する。 ◇よいところを感想として述べるだけでなく、質問したり、意見を述べたりすることが理解を深めるためには大切であることを伝え、交流を促す。
<p>終末</p> <p>6、「学習のまとめ」を書いて本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇本時の学習を振り返って、教科書や補助プリントから故事成語の意味を読み取って書くことで、どんな力がついたかを確認する。 ◇本時の学習内容を全体で振り返るために、数人の振り返りを発表する。